

臨床研究

「脊髄損傷後患者における疼痛発症にかかわる

中枢神経系の機能的・構造的変化の探索」

1. 研究の対象

脊髄損傷受傷後 6 か月以上経過した 18 歳以上の患者さん

2. 研究目的・方法

脊髄損傷によって運動障害や感覚障害などの後遺症が残りますが、その中で痛みが出てくる方がおられ、これを脊髄損傷後疼痛といいます。この痛みは通常のお薬では十分にコントロールが出来ないことも多い代表的な難治性疼痛で、多くの患者さんが日常生活に支障をきたしており困っています。私たちは、このような脊髄損傷後疼痛に対する新たな治療の研究開発をしています。より良い治療を開発するためには、その病気のメカニズムについて詳しく知る必要がありますが、まだまだ分かっていないことが多いのが現状です。また、痛みは主観的なもので、評価が難しく、より客観的な指標が望まれています。そこで本研究では、脳 MRI を用いて脊髄損傷後疼痛に関わる客観的指標を同定し、病気のメカニズムの理解を深めることを目指します。

本研究では、まず診察をして研究に参加していただく条件に合っているか確認をします。脳 MRI を撮影するとともに、病歴を詳細にお聞きしたり、神経所見や痛みの評価をしたり、活動量を測定したりします。本研究は、大阪大学医学部附属病院脳神経外科、和歌山県立医科大学附属病院リハビリテー

ション科、横浜市立大学附属病院リハビリテーション科の3施設での多施設共同研究として実施します。

3. 研究に用いる情報の種類

脳MRI画像、患者さんの年齢や性別などの背景因子、脊髄損傷の発症時期や種類など脊髄損傷の情報、現在の神経症状、痛みの有無や場所、活動量計で測定した活動量などの情報を用います。

4. 外部への情報の提供

共同研究施設間で情報の共有を行います。

5. 研究組織

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 教授 貴島 晴彦

和歌山県立医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 教授 田島 文博

横浜市立大学医学部 リハビリテーション科学 教授 中村 健

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：

国立大学法人 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経機能再生学・脳神経外科学

細見 晃一

住所：大阪府吹田市山田丘 2-2

電話番号：06-6210-8435

研究責任者：

国立大学法人 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

教授 貴島 晴彦

研究代表者：

国立大学法人 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

教授 貴島 晴彦